

シラバス

1. 授業科目と単位

専門科目「基盤神経科学II」(X)講義 ()演習 ()実習

1単位

2. 履修対象者

生理学専攻の D1,2 は強く推奨。D3,4,5 は選択。

3. 授業担当教員

吉村由美子、林健二、米田泰輔、鳴島円、窪田芳之、根本知己、榎木亮介、大友康平

4. 授業実施期間

2021年11月～2021年12月(金曜日) 10:00～12:00

5. 授業実施場所

Zoomによるonline配信

生理学研究所 明大寺地区1F講義室、または山手地区3号館9Fセミナー室B

(新型コロナウイルスの状況により、実施場所が変更になる可能性があります)

6. 履修条件、方式

事前の準備は特に必要なし。すべての講義は英語で行う。

7. 授業内容の概要

脳の機能発達と可塑性の理解に向けて、ニューロン発生と神経回路の発生メカニズム、神経活動に依存したシナプス可塑性と再編、生体恒常性発達、生体リズムの発生の機序、イメージング手法などについて涵養する。

8. 授業の達成目標

本講義の受講後には、ニューロン発生と神経回路の発達メカニズム、神経活動に依存したシナプス可塑性と再編、生体恒常性発達、生体リズム、イメージング法について説明し、最終的には、脳の機能発達と可塑性について議論することが可能となる。

9. 授業計画:対面講義の日程

第1回 2021年11月5日

「視覚系の機能と発達可塑性1」

吉村由美子（視覚情報処理）

第2回 2021年11月12日

「視覚系の機能と発達可塑性2」

林 健二（視覚情報処理）

第3回 2021年11月19日

「視覚系の機能と発達可塑性3」

米田泰輔（視覚情報処理）

第4回 2021年11月26日

「神経回路の恒常性維持と再編機構」

鳴島 円（生体恒常性発達）

第5回 2021年12月3日

「大脳皮質の神経細胞の多様性と局所神経回路」

窪田芳之（大脳神経回路論）

第6回 2021年12月10日

「生理機能の可視化解析の基礎と応用1」

根本知己（バイオフィotonクス）

第7回 2021年12月17日

「生理機能の可視化解析の基礎と応用2」

榎木亮介（バイオフィotonクス）

第8回 2021年12月24日

「生理機能の可視化解析の基礎と応用3」

大友康平（バイオフィotonクス）

10.使用参考書、参考文献

なし

11.単位取得要件と成績評価基準

講義への70%以上の出席を前提とし、レポートにより目標達成度を評価する。